

2 学年 グローバル・スタディ(GS)科 学習案内

◎ 中学校のグローバル・スタディでは、

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通じて、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する

ことを目標としています。

◎ 2年生の外国語（英語）では…

- (1) 聞くこと： はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要をとらえることができるようにする。
- (2) 読むこと： 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
- (3) 話すこと（やり取り）： 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
- (4) 話すこと（発表）： 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容をはなすことができるようにする。
- (5) 書くこと： 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

ことを目標としています。

● 1 学期（英語学習の習慣作り）

- ・学習態度、学習方法を身につける。（授業のマナー、ルール、持ち物の準備、家庭学習の定着など）
- ・未来を表す助動詞や be going to の使い方を理解し、表現することができるようにする。
- ・さまざまな接続詞や助動詞の使い方を理解し、表現できるようにする。
- ・不定詞の使い方を理解し、表現できるようにする。

● 2 学期・3 学期（様々な英語の文型に慣れ、基礎応用力を身につける）

- ・比較表現の文を理解し、表現できるようにする。
- ・まとまった英文を聞いたり読んだりして、理解できるようにする。
- ・習得した英語を用いて、自分の気持ちや考えを書いたり話したりできるようにする。

評価の観点 グローバル・スタディ科では次の3つの観点を評価していきます。

①知識・技能

言語材料と言語活動を効果的に関連付け
実際のコミュニケーション活動において活用できる技能を身につけているか。

②思考力・判断力・表現力

日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合っているか。

③主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。

★評価の方法

- 授業準備 →すべての基本は授業です！授業への準備（心構え）が大切です。
持ち物の準備、チャイム着席、家庭学習（予習・復習）ができているか。
- 授業態度 →英語は言語です。積極的に問いに答えます。他の生徒とコミュニケーションをとります。
また、先生の説明や英文、他の生徒の発言や発表を聞くときは集中します。
- 表現 →習った英語を使って、間違いを恐れず、自分の考えを表現しましょう。（話す、書く）
- 提出物 →ワークシート、ノート、ファイル、ワークなどを提出します。
自分の力になる取り組みをしましょう。提出期限を守りましょう。
- テスト →定期テストやパフォーマンステスト等で知識・理解・表現の程度を調べます。